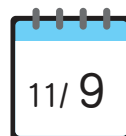
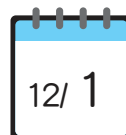


# まちの話題



## おおそでくんが サプライズ登場

駒場小学校の全校朝会で行われた「校長のお話」の中で、高瀬校長が町のゆるキャラや音更大豆振大豆について児童に紹介しました。話の最後には、陽気な「おおそでくんのテーマ」とともにおおそでくんがサプライズ登場し、児童を笑顔にしました。児童会長の渡邊莉悠くん(6年)は「おおそでくんは今日初めて見たけど、動きがかわいかった。大豆からいろいろな食べ物ができていることを知ったので栄養を考えて食べていきたい」と話してくれました。



## スポーツを通して まちを元気に

町と北海道十勝スカイアーススポーツ株式会社が包括連携に関する協定を結びました。調印式には、町長をはじめ、町の職員も「スカイアースのチームの一員となった気持ちで」とユニフォーム姿で参加しました。今後、スカイアースの選手など関係者の皆さんは、部活動や授業支援、運動教室、施設慰問、イベント参加などさまざまな機会を通じて町との連携を深め、心豊かな人を育むまちの実現に寄与することを目指していきます。





## 冬の夜空に大輪の花



南中音更小学校の閉校記念事業の1つとして、同校のグラウンドから花火の打ち上げが行われました。児童、保護者、学校関係者のほか地域の方が南中音更会館の駐車場に集まり、全員で打ち上げ開始をカウントダウンすると、児童がリクエストした6曲の音楽に合わせて、盛大な打ち上げが行われました。約30分間にわたり、冬の夜空いっぱい打ち上げられたきれいな花火に、会場の皆さんは寒さを忘れて盛り上がっていました。



## さまざまな写真が並びました



図書館で十勝エゾリス写真クラブの第15回作品展が開かれました。会場には会員23人が、さまざまな被写体を色鮮やかに撮影した作品67点を展示。来場した人たちは「動物や自然など、普段見られないものが見られたし、写真を撮る皆さんの努力を感じた。すごくきれいで目の保養になった」と笑顔で話していました。



## 進路のことを考える きっかけに



音更高校では、後期の総合的な探求の時間の一環として、進路や社会の知識を広め、考えるきっかけを作ることを目的に「お仕事スタートアップガイダンス」を開催し、1年生107人が町内の企業8社のうち3社を選び、仕事の概要について学びました。同校2年生の就職希望者40人も同様に説明を受けました。